様式

令和６年度ひろしま自然保育推進事業　活動報告書

令和７年４月 30 日

団体所在地　廿日市市串戸 3-1-6
団体の名称　特定非営利活動法人キッズ NPO
職・氏名　園長　奥　勇輔
（施設名　にこにこキッズくしど保育園）

１　活動報告

【４月～６月】(春季)

・トマト、キュウリ、ピーマン苗植え
・田植え、泥遊び
・モリアオガエルの観察
・キュウリが枯れてしまったためヘチマを植える

【７月～９月】(夏季)

・夏野菜の収穫
・クッキング
・川遊び
・カブトムシの飼育（幼虫が成虫になる）

【１０月～１２月】(秋季)

・大根の種まき
・サツマイモの収穫
・トンボの観察
・クッキング
・稲刈り、餅つき

【１月～３月】(冬季)

・雪遊び
・カブ、大根収穫
・クッキング
・弥山登山
・ヒキガエルの産卵観察

活動報告（詳細）

１シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード１つご記入してください。
エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。
写真は基本１枚です。

【４月～６月】

（写真）

（エピソード記述）

・田んぼで泥遊びや田植え体験を楽しむことができた。生き物が好きな子どもたちは、シマゲンゴロウやツチガエル、田んぼでしか見る事の出来ないホウネンエビなどを捕まえて観察を楽しむことができました。

【７月～９月】

（写真）

（エピソード記述）

・年間を通してコンポスト作りに取り組み、給食で使う野菜の切れ端や皮などの植物性の生ごみを土に混ぜて様子を見る。近所の公園でミミズを捕まえてミミズもコンポストに入れて分解されていく様子を観察する。一週間前に入れた野菜の皮が無くなっていたり、かぼちゃの種は中々無くならないことなどに気がつく。

【１０月～１２月】

（写真）

（エピソード記述）

・毎年恒例の稲刈り体験ですが、今年は刈り取った稲を束ねたり、竹に干すところまで子ども達で取り組むことができた。年長児が率先して作業に取り組み、年中児や年少児もできる作業は真似てみたり、難しい場合は保育者に助けを求めながらみんなで協力しながら取り組めた。ハロウィン会でポン菓子にして食べたり、もちつき会でおもちにしたりしてお米の大切さを知ることができた。

【１月～3 月】

（写真）

（エピソード記述）

・3 月の気温が 10 度を超える日に極楽寺山に行くと、ヒキガエルのペアが 3 組ほど交尾をしていた。交尾をしていない個体も何匹か見つけることができたので実際に触ったりして観察を楽しむことができた。池の中には卵も確認できたので、日にちを置いてオタマジャクシが生まれてきていないか経過も観察することができ、生まれてきたオタマジャクシの小ささに驚く子どもたちの様子も見られた。

２　その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

・　職員の資質向上について

法人全体で自然保育実践研修に取り組み、系列園同士で意見交換をする。今後も取り組み内容を見直しながら継続して実践内容を共有しつつ、自然保育のスキルアップに繋げる。

・　地域との関わりについて

専門知識のある地域の方に農園をお借りして野菜の栽培や調理を行う。（毎週）

地域の方に田んぼをお借りして、泥遊びやもち米の稲植え体験や収穫をさせていただき、できたお米で餅つきを行う。

・　保護者との関わりについて

子供たちが育てた野菜を持ち帰って家庭でも味わっていただく。

連絡帳やSNSなどを通じて活動内容を知ってもらう。

・　その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

ＵＲＬ	https://instagram.com/niko_kushido